
赤潮情報(浦底湾臨時調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
令和3年4月14日

八代海赤潮注意報続報No. 2-2

[1] 4月14日の調査結果

3月23日の調査では、ヘテロシグマ アカシオの最高細胞密度は75,000細胞/mL(1m層)でしたが、本日の調査では、最高は1,485細胞/mL(1m層)でした。

珪藻類は全域で少ない状況でした。

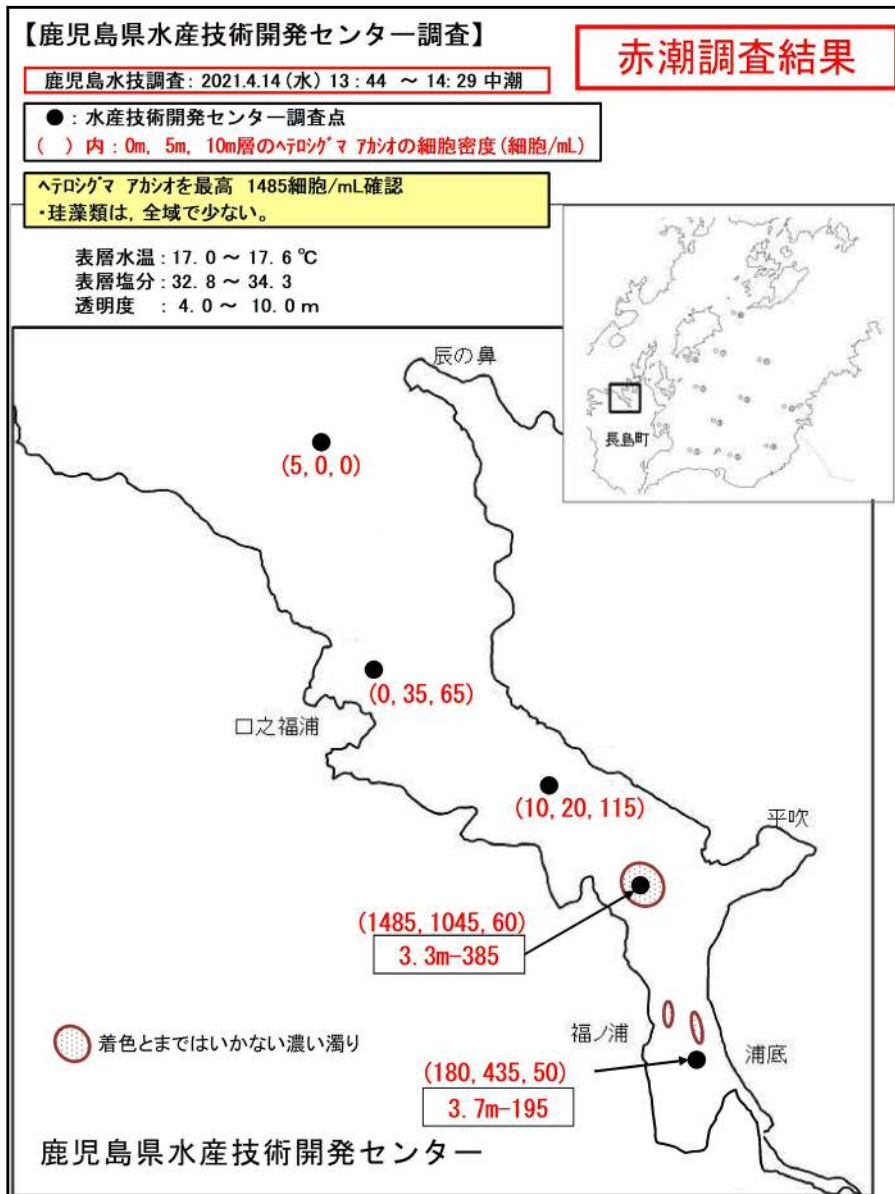
[2] 赤潮注意報の解除

浦底湾では、3月23日にヘテロシグマ アカシオの赤潮注意報を発出していましたが、細胞密度が減少したことから、赤潮注意報は解除します。

[3] 今後の赤潮発生の予想

水温の上昇に伴い、プランクトンの増殖が活発になる赤潮シーズンに入っており、競合種の珪藻類が少ないことから、今後有害種が増殖する可能性があります。

各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に検鏡等を継続し、注意をお願いします。



※ヘテロシグマ アカシオの特徴

- ・適水温15-25°C
適塩分はきわめて広い。
- ・魚毒性が強く、致死細胞密度はブリで10万細胞/mL前後、カンパチで3万細胞/mL前後。

赤潮情報(携帯用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

